

研究者のパートナーが 目指す育児とキャリアの追求 ー遠距離結婚生活と男性育児の経験からー

2015
6.24 (水)

16:30 ~ 18:00

講演とトーク・セッション

学術情報総合センター 1 階
文化交流室

大阪市立大学 杉本キャンパス
(大阪市住吉区杉本町 3-3-138)

教育研究活動を進める上での

パートナーとの協力、男性育児、
夫婦間の衝突回避…

お互いが納得できる
ライフスタイルのあり方について、
男性・女性ともに考えてみませんか？

育休を経験したお二人にお話をうかがいます。

【講師】 **川村 匡** : 文部科学省職員、京都工芸繊維大学総務企画課長

かわむら ただし

×

古山 陽一 : 大阪市立大学医学部附属病院看護師、「パパの育児休業支援センター」代表

ふるやま よういち

【司会】 **奥野 久美子** : 大阪市立大学文学研究科准教授、大阪市立大学女性研究者支援室運営委員

おくの くみこ

教職員、学生、一般の方
男女問わずどなたでもご参加下さい。

※参加無料、要事前申込み

(当日参加可)

♪託児サービスあります♪
(詳しくは裏面へ⇒)

【主催・申込み】

大阪市立大学 女性研究者支援室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本町 3-3-138

Tel: 06-6605-3661 E-mail: ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

お電話または E-mail で氏名・所属をお知らせ下さい。

お申し込み時にいただきました個人情報、セミナー等の案内・事務資料の作成に
使用し、目的以外の利用はいたしません。





プロフィール

【講師】

川村 匡 (かわむら ただし)

文部科学省職員、京都工芸繊維大学企画総務課長

京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程修了。

平成 15 年文部科学省入省。高等教育局、初等中等教育局、生涯学習政策局、大臣官房総務課広報室を経て、平成 25 年 4 月から京都工芸繊維大学に出向中。

平成 15 年、社会心理学者である現在の妻と結婚。

平成 22 年 1 月から 1 年間育児休業を取得。

女性研究者の夫であり、夫婦間の平等・公平な育児分担と仕事の遂行を目指す男性として、皆さんと一緒に WLB について考えたいと思います。

古山 陽一 (ふるやま よういち)

大阪市立大学医学部附属病院看護師、同大学院創造都市研究科修士課程在学

自身の育休取得の経験から、NPO 団体「パパの育児休業支援センター」を立ち上げ、本院勤務を続けながら男性の育児参画をサポートしている。

大阪市男女共同参画審議会委員 (平成 25 年 8 月～)、

京都市男女共同参画推進協会「男性の働き方」調査委員会委員 (平成 27 年 3 月～)、

阿倍野区子育て支援連絡会運営委員 (平成 27 年 4 月～) も務める。

女性の活躍と、男性の育児参画はセット

——そんな学内雰囲気の「創造」を目指しましょう。

【司会】

奥野 久美子 (おくの くみこ)

大阪市立大学文学部准教授、大阪市立大学女性研究者支援室運営委員

京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。

平成 17 年別府大学専任講師、京都教育大学を経て

平成 24 年度より本学文学研究科准教授。

平成 18 年に結婚、20 年に出産、23 年に離婚。

女性研究者が家庭生活を維持するには夫の理解と支えが不可欠であることを実感した立場から、〈理想のイクメン〉(?) 川村さんと古山さんにお話をうかがいます。

託児サービス

[時 間] 15:30～18:30

[申込み方法] お子さまの①お名前、②年齢、③希望時間帯を

ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp までメールにてお申込みください。

※締め切り 6 月 17 日 (水)

折り返し、持ち物や詳細についてメールさせていただきます。

託児サービスは、「(社) 子ども情報研究センター 保育部ももぐみ」に委託しています。